

第71回 和歌山市医師会医学会総会 ご 案 内

日時 ▶ 令和2年11月14日(土) 午後4時

場所 ▶ 和歌山ビッグ愛4階 和歌山市医師会大会議室

4:00 会長挨拶

和歌山市医師会会長 野村 康晴

4:10 特別講演

座長：和歌山市医師会理事 嶽 良博

演 題 『臨床応用を志向した医療 AI 研究の現状と将来への展望』

講 師

国立研究開発法人国立がん研究センター研究所分野長

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科連携大学院教授(連携教授)

一般社団法人日本メディカル AI 学会代表理事

浜本 隆二 先生

近年、機械学習技術の進歩、計算機環境の向上、また大量のデータが利用可能なデータベースが整備されたなどの要因が重なり、人工知能(AI)技術に大きな注目が集まっている。米国や中国などの大国が国策でAI研究開発を進める中、我が国においても内閣府より、Society 5.0という、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会を創出することが明文化され、AI技術はその中核的基盤技術として捉えられている。AI開発は比較的古くから取り組まれているが、これまで順調に推進されてきた訳では全くなく、活況期と冬の時代を繰り返し、現在は第3次AIブームと一般的に考えられている。第3次AIブームがこれまでのAIブームと一線を画す点は、実際AIが既に社会実装されている点である。現在AI技術は社会のいたるところで活用されており、医療分野においても、米国FDAでは既に50種類程度のAI搭載医療機器を承認しており、本邦のPMDAもこれまで2つのAI搭載医療機器を承認している。このように社会における様々なところへAIが導入されている現実を鑑みると、ブームという一過性の言葉で片付けるのではなく、我々人間がAIに対してどう向き合い、AIと人間が共存する豊かな社会の創出に向けて、真摯に考えなければならない段階に入っていると考えている。本講演においては、これまで二つの国家プロジェクトを研究代表として、また本邦のAI開発拠点の一つである理化学研究所AIPセンターのチームリーダーとして、医療AI研究を推進してきた経験に基づき、臨床応用を志向した医療AI研究の現状と将来への展望を述べたい。

主な経歴：

略 歴

2000年 東京大学医科学研究所・リサーチアソシエイト
2001年 東京大学医科学研究所・助手
2006年 ケンブリッジ大学腫瘍学部・Honorary Visiting Fellow
2007年 東京大学医科学研究所・助教
2012年 シカゴ大学医学部・准教授
2016年 国立がん研究センター研究所・分野長(現職)
2016年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・
連携大学院教授(現職)
2016年 戦略的創造研究推進事業CREST研究代表
2017年 理化学研究所革新知能統合研究センター・
チームリーダー(現職)
2018年 一般社団法人日本メディカルAI学会代表理事(現職)
2018年 内閣府/官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
研究代表(現職)

所属学会(学会・学術雑誌役職等)

一般社団法人日本メディカルAI学会(代表理事)、一般社団法人日本オミックス医学会(理事)、日本癌学会(評議員)、
日本がん分子標的治療学会(評議員)、
アメリカ癌学会(Active Member)

受賞歴

2005年 持田記念医学薬学振興財団留学補助金受賞
2007年 Canon Foundation Research Fellowship award
2008年 Outstanding Professional Award for Dedicated
Achievements in the Field of Medical Science
(ABI)
2009年 Scholar-in-Training Award for the AACR
2016年 安田記念医学財団癌研究助成受賞
2017年 ノバルティス科学振興財団研究奨励金受賞
2018年 生命医薬情報学連合大会・優秀ポスター発表賞
(共同受賞)
2019年 日本メディカルAI学会奨励賞・優秀賞(共同受賞)
2019年 日本胎児心臓病学会・里美賞(共同受賞)
2019年 日本皮膚科学会総会・優秀一般演題賞(共同受賞)
2019年 Wellness AWARD of the Year 2019
2019年 ISUOG Congress 2019 Short oral presentation
award(共同受賞)
2020年 2019年度日本メディカルAI学会奨励賞-JMAI
AWARD・優秀一般演題賞(共同受賞)
2020年 2019年度日本メディカルAI学会奨励賞-JMAI
AWARD・優秀ポスター賞(共同受賞)

5:30 閉会挨拶

和歌山市医師会副会長 角谷 正文